



企業訪問レポート

父が一代で築き上げた基盤をしっかりと受け継ぎ、なお一層の拡大・充実をはかる

伸光工業株式会社 奈良県橿原市

奈良県橿原市に本社を置く伸光工業株式会社は、現会長の荒巻伸治氏が一代にして会社の基盤を築きあげ、そして受け継いだ伸行社長がさらに会社を大きく成長させている。

現在「フレーム加工部門」、「溶材部門」、「搬送装置部門」の各部門を3本柱にして事業を展開。卓越した技術と優秀な熟練工等に裏付けられた信用力を武器に、安定した売上を確保して、業績を伸ばしている。

会社概要



会社名：伸光工業株式会社
所在地：奈良県橿原市曲川町6丁目7番1号
電話：0744-23-0365
FAX：0744-25-3579
創業：昭和37年5月
設立：昭和42年10月
代表者：代表取締役社長 荒巻 伸行
資本金：1,000万円
従業員：60名
事業：鉄鋼業

当時社長だった荒巻伸治会長は、創業以来、高圧ガスおよび溶接材料（溶材）の販売（昭和40年）や精密溶断・シャーリング（板金をはさみ切る加工）事業（昭和46年）など数々の事業を手がけ、一代にして会社の基盤を築きあげた。そして平成17年に子息の伸行氏に社長の座を譲る。34歳という若さで社長を受け継いだ伸行氏は会長と協調しながら、さらなる業容の拡大・充実を図って現在に至っている。

会長は、「企業経営にはリーダーシップが必要であり、従業員や取引先に対して言うべき事は言う。その代わりやるべき事はやる。絶対に中途半端な仕事はしない」と経営にかける信念は人一倍強い。また、「事業は何年、何十年と続けていかなければならないが、その秘訣は『品質のよい製品を作り、予定通り納めることで顧客の信頼を得ること』」と話す。

また、同社のこれまでの実績・信頼の基礎は、会長が作成した5つの経営信条

技術は会社の顔である
価格は会社の力である
納期は会社の心である
品質は会社の命である
信用は会社の宝である

に見ることができる。その信条、教えは、二代目伸行社長にも確実に受け継がれている。

3つの柱で成長プラス安定性確保

現在、同社は「フレーム加工部門」、「溶材部門」、「搬送装置部門」という部門を3本柱にして事業を展開しており、その割合はフレーム加工：5割、溶材：3割、搬送装置：2割である。

①フレーム加工部門

比較的大型の加工品が中心。高速道路、自動車



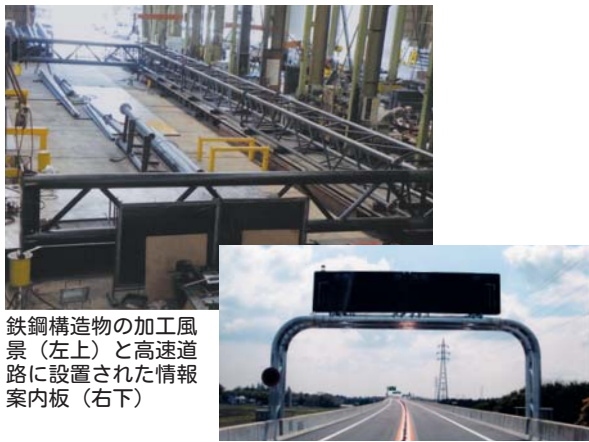
本社外観

伸光工業株式会社は、昭和37年5月、北葛城郡香芝町（現：香芝市）において伸光工業所として創業。昭和42年、法人成りに伴い現在の伸光工業株式会社となり、昭和63年には、現在地に本社を新設した。

専用道などで車道をまたぐように設置された道路情報案内板の門型支柱、ETCレーンや橋梁などの鉄鋼溶接構造物が得意で、県内ではオンリーワンを誇っている。この部門は、公共事業を主力とするクライアントの割合が多い。公共事業では、これまでの納品実績や技術レベル、経営力などが評価されて受注先が決まることが多いことからして、同社に総合的な信用力が備わっていることを裏付けている。

鉄鋼構造物は大きくなるほどゆがみが生じやすくなるため、その製造には相当の技術が必要だが、ハイレベルの技術力をもって難易度の高い工事もこなす。また、全国的に熟練工が高齢化しているなかで、平均年齢が30代と若いことも同社の特徴のひとつだ。

「日本全体で公共事業等の工事が減少しているなかにあっても自社の仕事量は減っていない」（荒巻会長）と自信の程をうかがわせる。



鉄鋼構造物の加工風景（左上）と高速道路に設置された情報案内板（右下）

②溶材部門

主に溶接業者や建設業者が使う高圧ガスのボンベ販売や溶材販売などを行っている部門であり、多数の優良固定客を持っている。なかでも病院など医療機関向けに供給している酸素ボンベは景気の波に左右されにくく、安定した売上げが確保できている。また、この部門は売上の多くを現金で回収できることから資金繰り面でのメリットも大きい。

③搬送装置部門

コンベア、ローダーなど自動車メーカーや弱電

メーカー等の工場ラインで使われる搬送装置を作っている部門。主な取引先は大手メーカーであり、やや景気の流れに左右される面もあるが、多業種・多形態の取引先からの受注が継続して入っており、売上は堅調に推移している。



溶材部門のひとつ酸素ボンベの供給

地域社会貢献と今後の展開

同社では地域社会へ貢献するという思いもあり、奈良県内の県立高校で溶接の授業を週2回行い、溶接技術の向上・普及に努めている。また、溶接に興味を持った高校生からの入社希望も多く、採用も定期的に行われている。

同社で取扱量が比較的多い受注生産は、固定的な受注先企業の有無、多寡が売上や収益確保の決め手となってくるが、自動車関連企業や大手電器メーカーなどに数多く取引先を持っていることは同社にとって大きな強みだ。また、高かさの大きい製品は伸光工業株式会社が引き受ける一方で、比較的小さいものは関連会社である株式会社シンコーが担うことで、「小さな精密部品から大きな鉄鋼構造物に至るまで、鉄の加工品で、できない製品はない」。

「比較的労働災害が起りやすい業界であるにもかかわらず、創業以来47年間大きな事故も無くやってこられたことに感謝しつつ、今後も3つの部門で一層の拡大・充実をはかっていきたい」と熱く将来を語る荒巻伸行社長。卓越した技術と優秀な熟練工等に裏付けられた信用力を武器に、同社の成長は今後も続こう。（丸尾尚史、島田清彦）